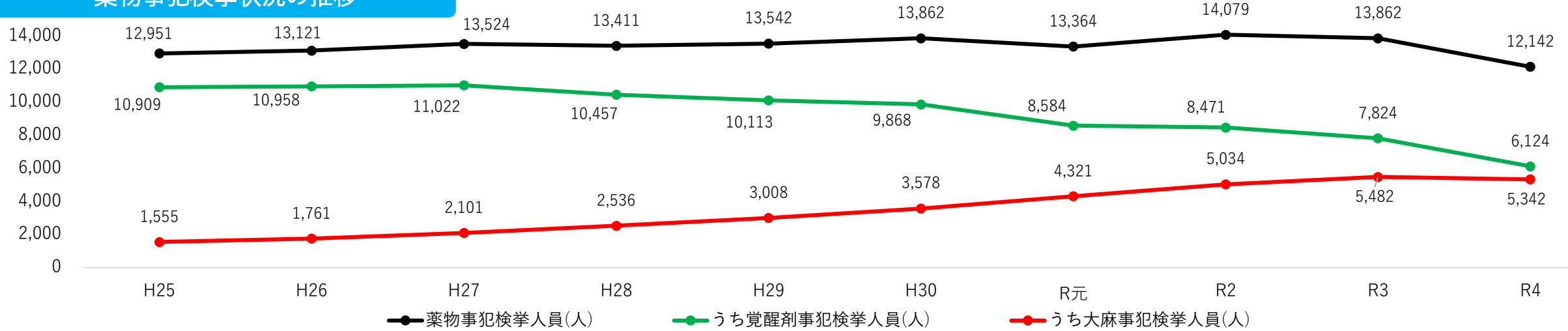


薬物事犯捜査の推進

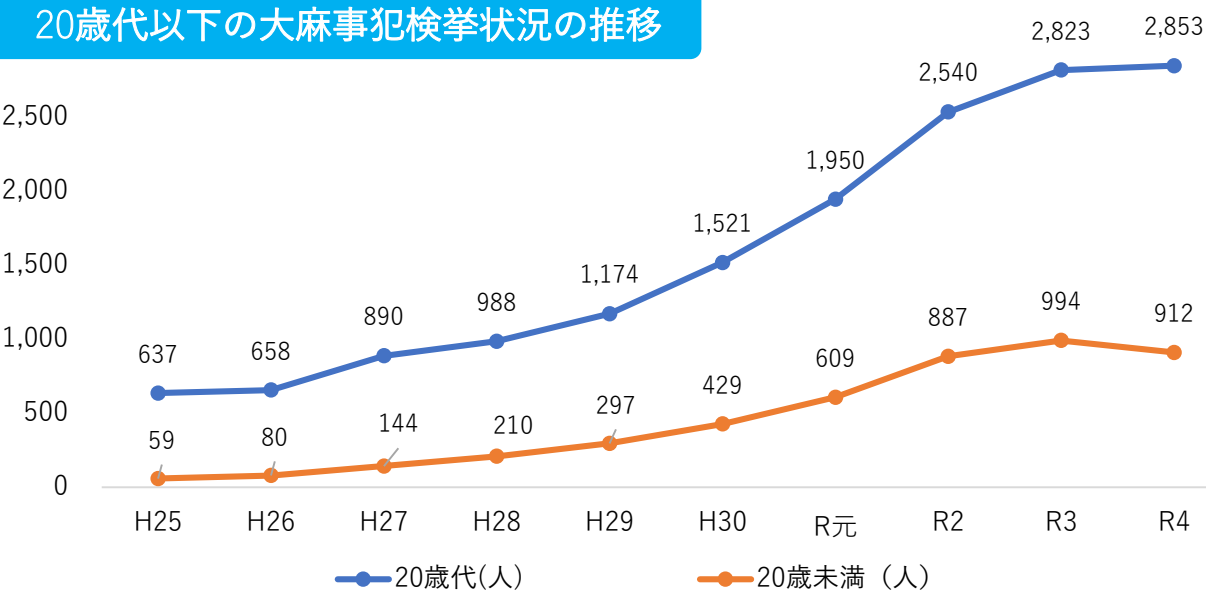
令和5年6月
警察庁刑事局
組織犯罪対策部
組織犯罪対策二課

薬物事犯検挙状況の推移

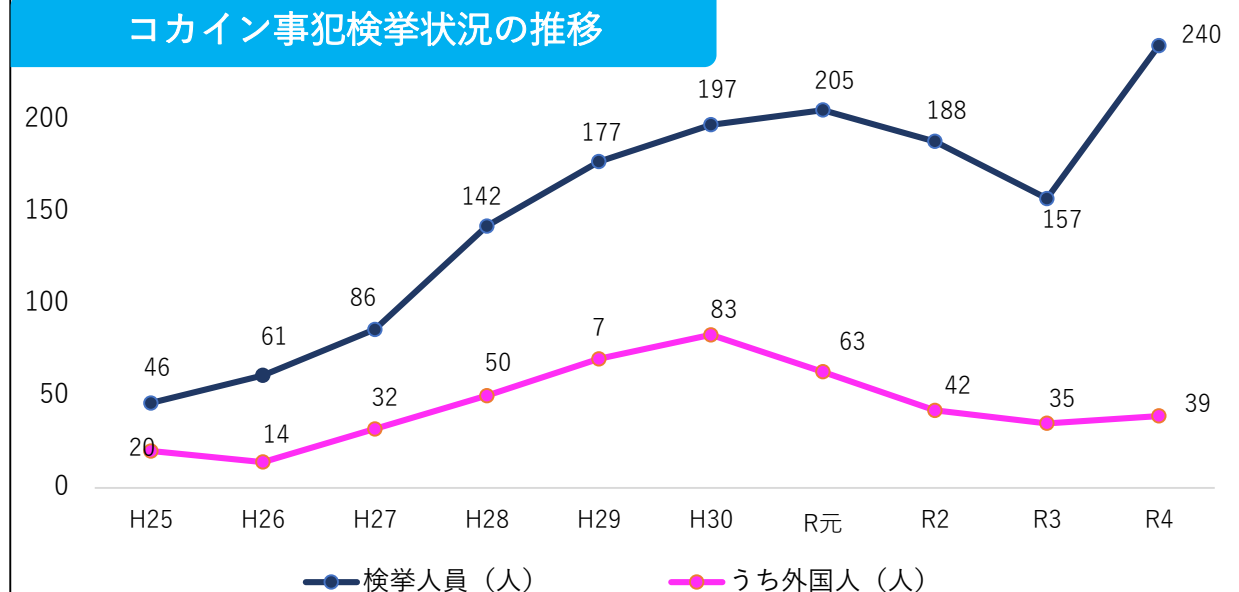
薬物事犯検挙状況の推移



20歳以下の大麻事犯検挙状況の推移



コカイン事犯検挙状況の推移



薬物事犯ごとの特徴

覚醒剤

- ・ 検挙人員が減少傾向にあるも、総検挙人員の半数以上を占める。
- ・ 再犯者率が高い。(令和4年68.4%)
- ・ 検挙人員に占める暴力団構成員等の割合が高い。

【薬理作用】

- ・ 幻想や妄想が現れ、中毒性精神病になりやすい。
- ・ 大量に摂取すると死に至る。



粉末状の覚醒剤



結晶状の覚醒剤

大麻

- ・ 令和3年は検挙人員が過去最多を記録、令和4年も横ばいで依然として高い水準。
- ・ 初犯者率が高い。(令和4年は75.9%)
- ・ 検挙人員の7割以上を20歳代以下が占めており、若年層の乱用が拡大。

【薬理作用】

- ・ 知覚変化、パニックを引き起こすこともある。
- ・ 学習能力の低下、記憶障害、人格変化を起こす。



大麻草



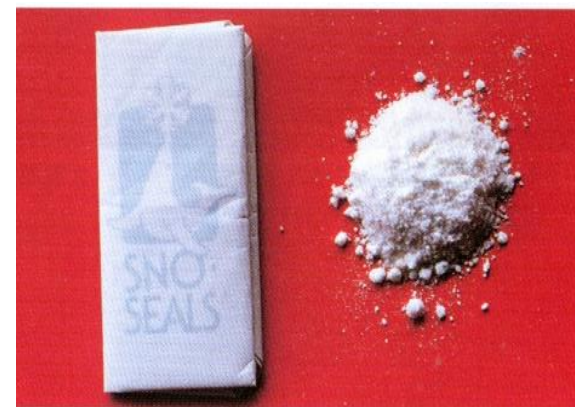
乾燥大麻

コカイン

- ・ 検挙人員が長期的に増加傾向にあり、令和4年は過去最多を記録。
- ・ 他の薬物事犯に比べ、検挙人員に占める外国人被疑者の割合が高い。(コカイン16.3%、覚醒剤7.5%、大麻5.8%)

【薬理作用】

- ・ 幻想や妄想が現れ、大量に摂取すると全身けいれんを起こすほか死に至る。



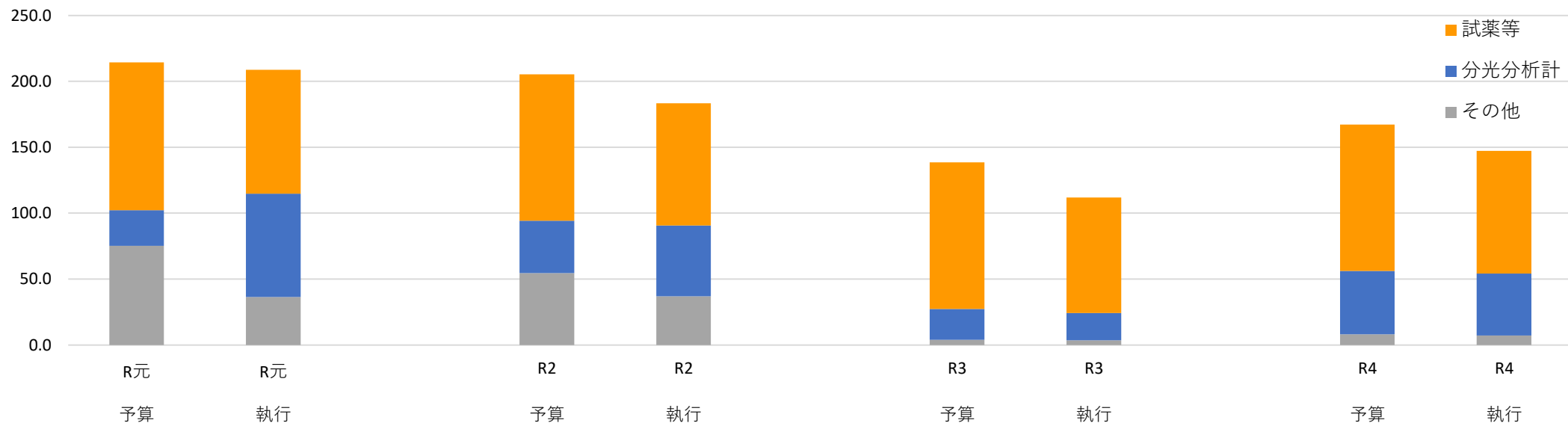
コカイン粉末

警察庁における薬物試薬・分光分析計等整備事業の概要

薬物試薬・分光分析計等整備事業

- ・ 違法薬物の所持・使用被疑者の検挙に必要な不可欠な試薬等の整備
- ・ 密輸密売組織の壊滅や末端乱用者の取締りに資する資機材の整備

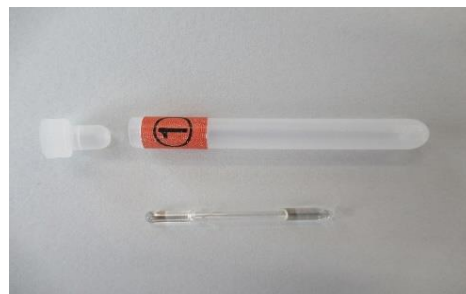
予算執行状況



年度	R元			R2			R3			R4		
	予算	執行	執行率	予算	執行	執行率	予算	執行	執行率	予算	執行	執行率
金額	214	209	98%	205	183	89%	138	112	81%	167	147	88%

薬物試薬（覚醒剤）

薬物の予試験試薬（覚醒剤）



① Mチェッカー
(アンプル 1 本在中)



② Xチェッカー
(アンプル 2 本在中)



③ i チェッカー
(アンプル 2 本在中)

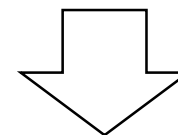
検体を各チューブ内に入れてガラスアンプルを折る



瞬時に赤煉瓦色に変色



瞬時に青藍色に変色



覚醒剤は呈色しない



覚醒剤陽性反応

- ① Mチェッカー (マルキス試薬)
- ② Xチェッカー (シモン試薬)
- ③ i チェッカー (アセトン・シモン試薬)

薬物試薬（大麻）

薬物の予試験試薬〔大麻〕



検体を①液に入れ、
2分間混ぜ、静置する



①液の上澄を②液に入れ、
1分間混ぜる



③液を②液に入れ、よく混ぜ、
静置する

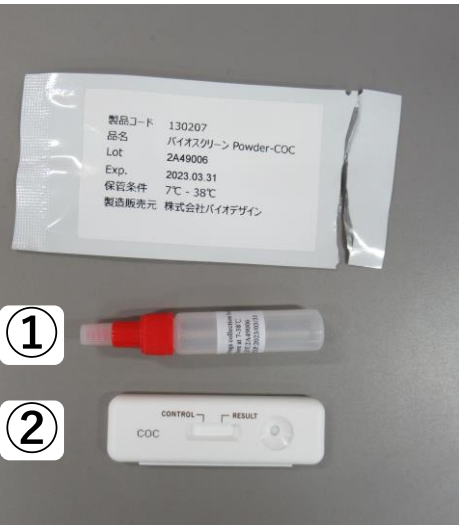


二層になった液の下層が
紫色～青紫色を呈すると陽性反応

- ①赤キャップ試薬
（エタノール等の混合溶液）
- ②青キャップ試薬（塩酸）
- ③茶アンプル入り試薬（クロロホルム）

薬物試薬（コカイン）

薬物の予試験試薬〔コカイン〕



①に検体を付着させ、ボトルに入れる(3回繰り返す)



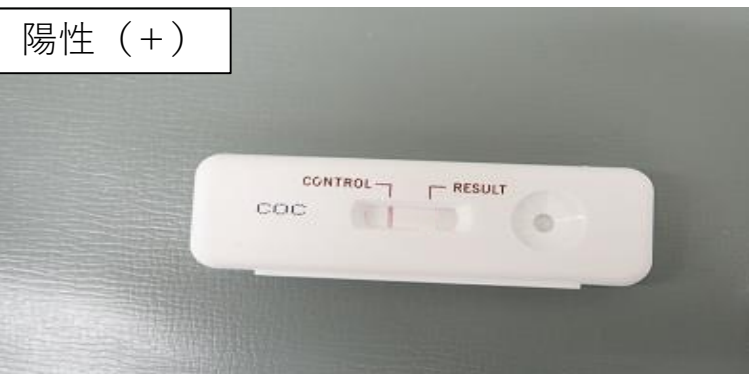
キャップを閉め上下に約10秒程度混ぜる



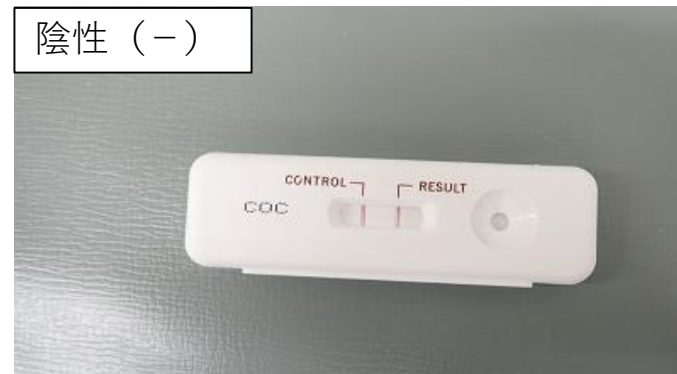
②のテストカードの枠部分に3滴滴下し5分間待つ

- ①サンプルボトル
- ②テストカード

陽性判定
CONTROL部分にラインが発現
RESULT部分にラインが発現しない



陰性判定
CONTROL部分とRESULT部分の両方にラインが発現



薬物試薬（尿中薬物）

尿中薬物検査試薬



尿を滴下してから
4～7分以内で判定



陽性 (+)



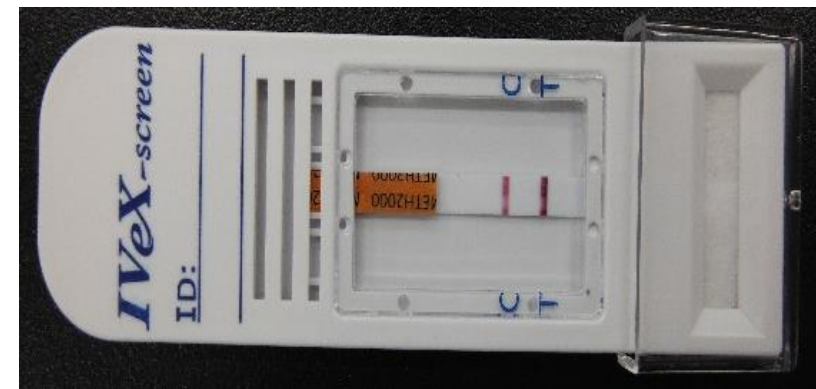
尿滴下口

陽性判定

C部分にラインが発現
T部分にラインが発現しない

陰性判定

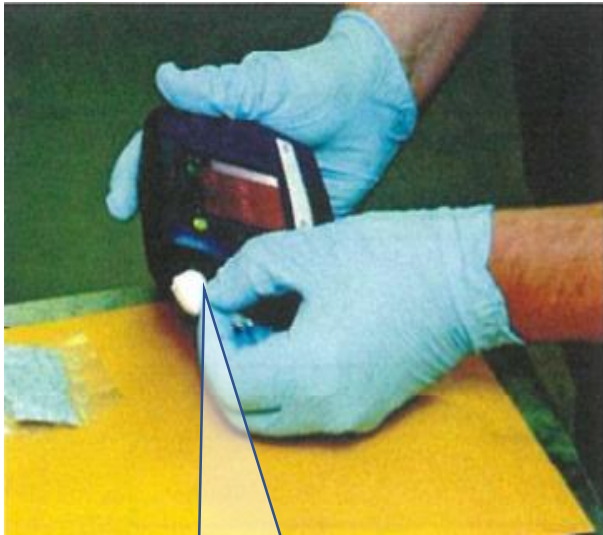
C部分とT部分の両方にラインが発現



陰性 (-)

分光分析計

分光分析計の活用方法



①対象にレーザー光を当て、散乱光を受光・分析(非接触・非破壊で測定)



②対象が規制薬物か照合



③コカイン等の規制薬物を含む400種類以上を測定可能

薬物試薬等・分光分析計の調達方法（現状）

薬物試薬等の調達方法

【国費配分による地方調達】

- ・ 四半期に2回（当初、追加）、都道府県警察からの申請を受け、警察庁において査定し国費を配分。
- ・ 都道府県警察では、一般競争入札又は随意契約（少額のため）等により調達。

分光分析計の調達方法

【中央調達】

- ・ 警察庁による中央調達を実施。
- ・ 公募により入札業者を募っているが、立証に必要な精度を満たす資機材を製造・保守できる取扱業者が1社しかいないため、同社と随意契約。

試薬ごとの予算執行状況等

試薬	対象	執行額 *1 *2	購入数 *1	使用期間	参考
覚醒剤	粉末 結晶 等	21百万円	24,240 個	6 ヶ月	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関でも同種の試薬を使用 都道府県警察で購入単価は同じ
大麻	葉片 濃縮物 等	8百万円	5,820 個	2年	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関でも同種の試薬を使用 都道府県警察によって購入単価に大きな差異はない
コカイン	粉末	0.4百万円	820 個	2年	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関でも同種の試薬を使用 千葉県警察は従来のもを購入 警視庁で令和3年6月から試行開始した試薬はより安価
尿中検査	尿	48百万円	42,035 個	2年	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関でも同種の試薬を使用 都道府県警察によって購入単価に大きな差異はない

*1 令和4年度予算執行

*2 (参考) 犯罪鑑識官における中央調達(令和4年度執行)

マルチローカスキット(DNA型鑑定で使用する試薬) : 執行額約17億5,000万円、購入数66万検体

今後の薬物試薬の調達方法（見直し案）

覚醒剤

- ・有効期間が6ヶ月と短いため、第一線での有効期間を出来るだけ長く確保する必要あり。
- ・年間約20,000個発注しているが、業者の製造能力が月約2,000個しかない。

→ **引き続き、国費配分による地方調達を継続する必要性が高い。**

大麻

- ・有効期間が2年と長いため、中央調達としても有効期間・業者の製造能力の点で支障はない。

→ **国費配分による地方調達を警察庁による中央調達に切り替える方向。**

コカイン

尿中検査

- ・都道府県警察ごとの情勢を踏まえつつ、スケールメリットを生かしたコスト削減について総合的に判断。

→ **中央調達を含め慎重に検討。**